

新宮山彦ぐるーぷ第1859回

## 南奥駆道の春季連休前点検巡視

(上葛川く笠捨山く行仙宿く21世紀の森)

◇実施日…2016年3月19日(土)く20日(日)

◇参加者…青木宏充(1泊2日)、20日帰り…川島 功、沖崎吉信、  
豊嶋 寛、濱野兼吉、塩川真武。 計6名。

南奥駆道の春季連休前の第二次刈峰行である。

21世紀の森東屋駐車場で20日・7時に塩川君と合流。大阪  
在住の塩川君は「十津川道の駅」で前夜車中泊して参加。  
沖崎車に乗換え行仙宿登山口へ。

行仙宿登山口横からモノレール設置予定ルートに木にテープ目  
印が付いている。造林所有者の上平前村長の了解を得たが、造林  
木は森林公団がからんでいて、森林公団は設置申請書を提出し認  
可後に設置工事となる事から、当初予定より遅れることになった。  
第二ベンチ手前の尾根には、芽吹き前の広葉樹の中に所々常緑  
樹のアセビの花が一層目立つ、晴れて陽ざしを受けるが冷たい風  
が吹き、汗かくことがない。第二ベンチから上の送電線下のマー  
キングされた雑木が伐採されていた。

浦向道から登った登山者3名と同宿した青木氏に出迎えられ  
る。昨日、上葛川↓葛川辻↓笠捨山↓行仙宿間の旧通信道く奥駆  
道を点検巡視して下さり、問題なしとの報告を受ける。

早速、行仙宿の雨水貯槽に栓をして貯める様にしたが、東側水  
槽の栓が見当たらず、後日青木氏が調達すると言って下さる。

青木氏の点検巡視の結果から笠捨山を登らず笠捨山捲道(旧通  
信道・鉄塔巡視路)を辿る事にして、捲道補修用の青木氏作製の木  
杭7本を運ぶ。

捲道補修には、かなりの延人数を要し、連休中の行仙宿来宿舎

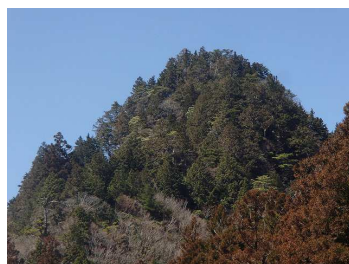
の対応者等の手を借りて補修致したくご協力をお願いします。  
2024 鉄塔を過ぎたガラ場に雑木倒木が在り、チェーンソーを  
動かし、燃料レバーで回転を上げると直ぐに止まる。何とか先端  
部を切ったが、直ぐ止まり又、手動紐が引っ掛り動かず使用出来  
なくなる。これから故障チェーンソーを持ち歩くことになる。



佐田ノ辻出発!



葛川辻で小休止

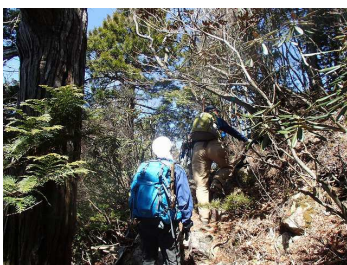


鉄塔から槍ヶ岳を望む

補修箇所確認と補修材は、前回工事の丸太材が残っており、土  
留め桟木・木杭はチェーンソー・鋸・鉋で調達できる。  
葛川辻で小休止、男性陣ばかりで菓子類の持参が無いと思った  
ら、甘夏皮ピール、煎餅、チョコナッツの差し入れがある。  
槍ヶ岳の登山道には、バイカオーレンが開花し、地蔵岳尾根に  
は、寒さに耐えた赤褐色葉のコイワカガミに花芽が見られた。



地蔵岳山頂



地蔵岳を過ぎた尾根



略垂直の鎖場を下りる

鎖場点検の結果、支点木はしっかりしていたが、支点木の1本は、鎖が幹に食い込みかけているので、緩くする処置をしたい。

地蔵尾根の鎖場を越えて、水場標識の地点で小休止。水場5分の標識があり、以前かなり下ったたが殆んど流れていない、確認出来なかった等から今回標識を撤去した。

四阿ノ宿で昼食。一昨年4月上旬に刈峰行を実施した時は、一面銀世界で震えて食事した事が思い出される。

今年暖冬とは言え、今週初めの雨は、釈迦ヶ岳以北は雪となり一晩で30〜40cm積もったとの事から、少なくとも4月一杯は何回かあると思われ油断出来ない。



四阿ノ宿跡出発！ 鉄塔で北大教授と出会う 国道への下山道標修復

先般、新宮山彦ぐるーぷフェースブック掲載の青木氏のイラストマップは、新宮へ行くので受取りたいと手配要請があり沖崎宅で手渡した際、名刺交換し話をしたら、熊野市から歩いて来て吉野まで歩く予定の北海道大学の人類学教授とのこと。

玉置神社は事前連絡しないと泊れないので昨日、青木氏が玉置山駐車場に設置したテントを利用したとのメールがあり、本日行仙宿泊で、何時出会うかと思っていたら鉄塔で北大教授に出会う。

地下足袋で装備も寒さに対応とは疑問であり、先日の積雪もあり、弥山・山上ヶ岳の小屋は冬期閉鎖であり、釈迦ヶ岳以北は積

雪も予想され、北からの登山者があれば情報を得て、無理しないように沖崎・青木氏がアドバイスし別れる。尚、沖崎氏は行仙宿に夕食の一部を差入れされた。

鉄塔横の巡視路から国道155への分岐道標が倒れかけていて、起して石で標柱を叩き修復する。



香精山山頂にて



倒木山桜切除



塔の谷峠

香精山を下ると山桜が道を塞いでいる。チェーンソーが使えないので沖崎・豊嶋氏が手鋸で切除する。切り終えた時にハネ上がり危ないところであった。

貝吹之野の急斜面を下り、塔の谷峠より少し登った地点で小休止。下っていくと径25cm以上の杉倒木、続いて枯れた赤松の倒木があり手鋸で切除する。



塔の谷峠を過ぎ小休止



倒木杉切除



倒木・枯れ赤松切除

倒木処理後の急斜面の下りで川島は、足の踏ん張りが効かず何とか平地に下り小休止する様に頼む。濱野氏からツムラ漢方薬製剤を頂き飲む。

年末から右膝裏のふくらはぎ上の筋肉か血管に鈍痛があり、医者に行つて痛み止めと湿布薬を貰つたが完治とはならず、山行の際は痛み止めを飲み歩いて、今日の長距離で足の疲れが解消出来なかつた様だ。

少し休憩し、なだらかな尾根道になり21世紀の森・上葛川の分岐で、青木氏上葛川登山口の車回送のため下山され別れた。

明日、深仙宿避難小屋の増床作業に梶野・山口氏と同行する事から、何処かで車中泊されるが、塩川君は旭口から釈迦ヶ岳に登つていないとの事から同行を勧める。

21世紀の森へは、やや緩やか下りとなり公園内車道を歩くとシデコブシ・ヒカゲノツツジの花が疲れを癒してくれ、皆より遅れ気味で何とか無事歩行出来た。



21世紀の森分岐



シデコブシ咲く



21世紀の森東屋

塩川車で行仙登山口の沖崎車回送に行き、回送を終えた塩川君は青木車待機の玉置山駐車場へ、新宮組は、浦向・不動峠経由で帰新のため林道口で左右に分れた。

国道425線は、冬期通行止め解除と連休のため行き交う車・単車の通行が目立った。21世紀の森く白谷トンネル間に、3箇

所程工事をしてはいるが通行に支障なさそうだ。  
帰路、山の斜面に山桜の花が散見され本格的な春の到来を感じ、まもなくソメイヨシノ桜が咲くだろう。

### 行動タイム

3月19日(土) 曇後晴

上葛川 9:35→13:00 葛川辻→13:40 笠捨山→15:30 行仙宿(泊)

3月20日(日) 晴

新宮 6:00→7:00 21世紀の森 7:10→7:40 行仙宿登山口 7:45→  
9:20 行仙宿 9:45→9:20No24 鉄塔 9:30→10:35 葛川辻 10:45→  
11:00No25 鉄塔→11:15 檜ヶ岳→11:25 地藏岳→垂直鎖場 11:35→  
12:00 四阿宿跡 12:35→押返し 12:40→12:48 檜之宿跡→12:52 鉄  
塔巡視路分岐→12:55 鉄塔→国道425分岐 13:10→13:15 香精山→  
13:30 倒木山桜切除→13:45 貝吹之野→塔の谷峠 13:50→13:55 小  
休止→14:05 倒木杉切除→14:20 倒木枯れ赤松切除→14:35 小休  
止→21世紀の森・上葛川分岐 14:55→15:15 21世紀の森東屋  
15:20→15:55 林道口 16:10→17:25 新宮。

(記 川島)